

沖縄県中城湾流域下水道
事業計画書（変更）

流域下水道管理者

沖縄県知事

工事着手の年月日

昭和 59 年 2 月 25 日

工事完成の予定年月日

令和 7 年 3 月 31 日
令和 13 年 3 月 31 日

(第1表)流域関連公共下水道の予定処理区域及び流域下水道との接続箇所調書

流域関連公共下水道の予定処理区域及び流域下水道との接続箇所調書								
流域関連公共下水道の 予定処理区域の面積			3,563.2 3,575.6 ヘクタール		流域関連公共下水道の 予定処理区域内の地名		うるま市、沖縄市、北中城村 「区域は下水道計画一般図 表示のとおり」	
流域 下水道 処理区 の名称	市町村名	流域関連 公共下水道 の名称	処理分区 の名称	面 積 (単位ヘクタール)	流域関連公共 下水道との 接続箇所の 番号	流域関連公共 下水道との 接続箇所の 位置	接続する流域 下水道の幹線名	摘 要
具志川 処理区	うるま市	うるま市 公共 下水道	新港地区 第2-1処理分区	15.7	18-1	中城湾新港地 区内	新港幹線	
			新港地区 第2-2処理分区	37.7	18-2	中城湾新港地 区内	〃	
			新港地区 第3処理分区	91.5	17	字州崎	〃	
			前原 処理分区	357.1 356.4	2	字前原	具志川幹線	
			大田 処理分区	37.4	3-1	字大田	〃	
			具志川 処理分区	166.6	4	字田場	〃	
			田場 処理分区	379.8	5	字田場	〃	
			安慶名 処理分区	186.9	6	字安慶名	〃	
			西原第1 処理分区	34.5	7-1	字安慶名	〃	
			西原第2 処理分区	85.0	7-2	字西原	〃	

流域関連公共下水道の予定処理区域及び流域下水道との接続箇所調書								
流域関連公共下水道の 予定処理区域の面積			3,563.2 3,575.6 ヘクタール		流域関連公共下水道の 予定処理区域内の地名		うるま市、沖縄市、北中城村 「区域は下水道計画一般図 表示のとおり」	
流域 下水道 処理区 の名称	市町村名	流域関連 公共下水道 の名称	処理分区 の名称	面 積 (単位ヘクタール)	流域関連公共 下水道との 接続箇所の 番号	流域関連公共 下水道との 接続箇所の 位置	接続する流域 下水道の幹線名	摘 要
具志川 処理区	うるま市	うるま市 公共 下水道	西原第3 処理分区	43.5	7-3	字川崎	具志川幹線	
			西原第4 処理分区	19.1	7-4	字川崎	〃	
			新前原 処理分区	27.9	1-1	字前原	〃	
			豊原 処理分区	28.5 29.2	2-1	字豊原	〃	
			塩屋 処理分区	37.9 45.6	2-2	字塩屋	〃	
			川田 処理分区	31.0 23.3	3	字川田	〃	
			栄野比第1 処理分区	38.5	8-1	字栄野比	〃	
			栄野比第2 処理分区	19.2	8	字栄野比	〃	
			白川 処理分区	482.1	11	勝連内間	与勝幹線	
			与勝 処理分区	14.9	10-1	勝連南風原	〃	

流域関連公共下水道の予定処理区域及び流域下水道との接続箇所調書								
流域関連公共下水道の 予定処理区域の面積			3,563.2 3,575.6 ヘクタール		流域関連公共下水道の 予定処理区域内の地名		うるま市、沖縄市、北中城村 「区域は下水道計画一般図 表示のとおり」	
流域 下水道 処理区 の名称	市町村名	流域関連 公共下水道 の名称	処理分区 の名称	面 積 (単位ヘクタール)	流域関連公共 下水道との 接続箇所の 番号	流域関連公共 下水道との 接続箇所の 位置	接続する流域 下水道の幹線名	摘 要
具志川 処理区	うるま市	うるま市 公共 下水道	南風原 処理分区	35.6	10	勝連南風原	与勝幹線	
			新港地区第1 処理分区	113.9	19	中城湾新港地区内	新港幹線	
			新南風原 処理分区	9.6	10-2	勝連南風原	与勝幹線	
			勝連団地 処理分区	1.5	10-3	勝連南風原	〃	
			勝連城跡 処理分区	8.6	10-1-1	勝連南風原	与勝幹線	
	沖縄市	沖縄市 公共 下水道	新港地区第4 処理分区	87.0	1	うるま市 字州崎	具志川幹線	
			泡瀬 処理分区	209.7 212.7	12	字古謝	北中城幹線	
			高原 処理分区	239.1	13	字泡瀬	〃	
			比屋根第1 処理分区	115.5	14	泡瀬四丁目	〃	
			比屋根第2 処理分区	24.0	14-1	字比屋根	〃	
			与儀第2 処理分区	179.0	15-2	字与儀	〃	

流域関連公共下水道の予定処理区域及び流域下水道との接続箇所調書								
流域関連公共下水道の 予定処理区域の面積			3,563.2 3,575.6 ヘクタール		流域関連公共下水道の 予定処理区域内の地名		うるま市、沖縄市、北中城村 「区域は下水道計画一般図 表示のとおり」	
流域 下水道 処理区 の名称	市町村名	流域関連 公共下水道 の名称	処理分区 の名称	面 積 (単位ヘクタール)	流域関連公共 下水道との 接続箇所の 番号	流域関連公共 下水道との 接続箇所の 位置	接続する流域 下水道の幹線名	摘 要
具志川 処理区	沖縄市	沖縄市 公共 下水道	池原 処理分区	112.0 121.4	9	うるま市 字栄野比	具志川幹線	
			東部海浜埋立地区 処理分区	95.0	13	字泡瀬	北中城幹線	
	北中城村	北中城村 公共 下水道	与儀第1 処理分区	3.1	15-1	字渡口	北中城幹線	
			与儀第2 処理分区	37.0	15-2	字与儀	〃	
			渡口 処理分区	157.8	16	字渡口	〃	

(第2表)計画降雨調書

計画降雨調書						
流域下水道排水区の 名称	市町村名	流域関連公共 下水道の名称	排水区の名称	計画降雨		摘 要
				一時間当たりの降雨量 (単位 ミリメートル)	確率年	
—	—	—	—	—	—	—

(第3表)吐口調書

吐 口 調 書							
流域下水道 処理区の名称	吐口の種類	吐口の番号又は名称	吐口の位置	計画放流量	放流先 の名称	放流先 の水位	摘 要
具志川処理区	処理施設	具志川浄化センター吐口	沖縄市海邦町 地先	59,000 66,000 m ³ /日	中城湾	LWL -1.100	

(第4表)管渠調書

管 渠 調 書								
流域下水道 処理区の名称	幹線名	位 置		最大内のり寸 法(単位ミリ メートル)	最小内のり寸 法(単位ミリ メートル)	延長(単位 メートル)	点検箇所 の数	摘 要
		起 点	終 点					
具志川 処理区	具志川幹線	うるま市字州崎	うるま市字栄野比	O1,500	O250	10,470 12,200	2	※
	北中城幹線	うるま市字前原	北中城村字渡口	O800	O250	6,040 6,570	2	※
	与勝幹線	うるま市字川田	うるま市勝連内間	O800	O350	4,610	1	※
	放流幹線	沖縄市海邦町 地先	沖縄市海邦町	O1,200	O1,200	1,440 1,290	0	
	新港幹線	うるま市字州崎	うるま市中城湾 新港地区内	O700	O600	2,540	0	
計						25,100 27,210	5	

※ 方法:マンホール内からの管内目視もしくは管口カメラを用いる方法

頻度:5年に1回以上

(第 5 表) 処理施設調書

処 理 施 設 調 書								
終末 処理場等 の名称	位置	敷地面積 (単位 ヘクター ル)	計画放流 水質	処理方法	処理能力		計画処理 人口	摘要
					晴天日最大 (単位 立法 メートル)	雨天日最大 (単位 立法 メートル)		
具志川浄化 センター	うるま市 宇州崎 沖縄市 海邦町	8.95	BOD 15mg/L	標準活性 汚泥法	64,000 67,200	—	137,900人 147,200人	計画下水量 (日最大) 59,000m ³ /日 66,000m ³ /日 全体計画処理能力 (日最大) 64,000m ³ /日 67,200m ³ /日 流入水質 230mg/L BOD 240mg/L 190mg/L SS 200mg/L 放流水質 14mg/L以下 SS 15mg/L以下

終末処理場等の敷地内の主要な施設					
終末処理場等の名称	主要な施設の名称	個数	構 造	能 力	摘 要
具志川浄化センター	汚水ポンプ	6台	立軸渦巻斜流ポンプ	約76m ³ /分 約68m ³ /分	6/6(内予備1台)
	沈砂池	2池	鉄筋コンクリート造り	水面積負荷 約1,800m ³ /m ² ・日	常流式沈砂池 2/2
	最初沈殿池	5池	鉄筋コンクリート造り	水面積負荷 約50m ³ /m ² ・日 有効水深 3.0m	円形放射式沈殿池 5/5
	反応タンク	7池	鉄筋コンクリート造り	BOD－SS負荷 約0.3 kg・BOD/kg・SS 汚泥返送率 40%	直流エアタンク 7/7
	最終沈殿池	2池	鉄筋コンクリート造り	水面積負荷 約20m ³ /m ² ・日 有効水深 2.5m	一方向常流式沈殿池 2/2
		5池		3.5m	5/5
	塩素混和池	1池	鉄筋コンクリート造り	混和時間 15分 次亜塩素酸ソーダ	迂流式混和池 1/1
	重力式濃縮タンク	2池	鉄筋コンクリート造り	固形物負荷 約60kg/m ³ ・日	円形式濃縮タンク 2/0
	機械濃縮機	3基		処理能力 約80m ³ /hr	3/5(内予備1基)
	汚泥消化タンク	3槽	鉄筋コンクリート造り	消化日数 約30日	3/3
	ガスタンク設備	3基	ドライシール型		3/3
	脱水機棟	1棟	鉄筋コンクリート造り	脱水機室、薬注室、電気室、 作業員控室等	
	脱水機設備	4台	遠心脱水機	処理能力 約60m ³ /hr	4/4
	送風機棟	1棟	鉄筋コンクリート造り	送風機室、電気室、換気ファン室 受変電室、自家発電室等	
	送風機設備	4台	多段ターボブロワー	風量 約460m ³ /分 風量 約360m ³ /分	4/4(内予備1台)
	管理棟	1棟	鉄筋コンクリート造り	事務室、会議室、水質試験室、 中央監視室、換気ファン室等	
	雑用水設備棟	1棟	鉄筋コンクリート造り	急速ろ過棟、簡易ストレーナー 電気室、ポンプ室等	

(第6表)ポンプ施設調書

ポ ン プ 施 設 調 書						
ポンプ施設の名称	流域下水道 処理区の名称	ポンプ施設 の位置	敷地面積 (単位 アール)	1分間の揚水量 (単位 立法メートル)		摘 要
				晴天時最大	雨天時最大	
田場中継ポンプ場	具志川処理区	うるま市 字田場	11.0	17.8 18.8		
比屋根中継ポンプ場	具志川処理区	沖縄市 字比屋根	7.0	6.3 7.1		
渡口中継ポンプ場	具志川処理区	北中城村 字渡口	8.5	2.7 3.0		
白川中継ポンプ場	具志川処理区	うるま市 勝連内間	10.0	6.1 6.0		
栄野比中継ポンプ場	具志川処理区	うるま市 字栄野比	9.8	2.4 3.1		

ポンプ施設の敷地内の主要な施設					
ポンプ施設の名称	主要な施設の名称	数	構 造	能 力	摘 要
田場中継ポンプ場	汚水ポンプ	6台	横軸汚水ポンプ	約18.5m ³ /分 約19.5m ³ /分	6/6
比屋根中継ポンプ場	汚水ポンプ	4台	横軸汚水ポンプ	約6.4m ³ /分 約7.5m ³ /分	4/4
渡口中継ポンプ場	汚水ポンプ	3台	横軸汚水ポンプ	約3.2m ³ /分 約3.0m ³ /分	3/3
白川中継ポンプ場	汚水ポンプ	4台	横軸汚水ポンプ	約6.1m ³ /分 約6.0m ³ /分	4/5
栄野比中継ポンプ場	汚水ポンプ	3台	横軸汚水ポンプ	約2.6m ³ /分 約3.2m ³ /分	3/3

(第7表)貯留施設調書

貯 留 施 設 調 書				
流域下水道処理区 の名称	貯留施設の名称	貯留施設の位置	貯留能力 (単位 立方メートル)	摘 要
—	—	—	—	—

(様式 1) 施設の設置に関する方針

主要な施策	整備水準					事業の重点化 ・効率化の方針	中期目標を達成 するための主要 な事業	備考	
	指標等			現在 (令和5 年度末)	中期目標 (令和15 年度末)				長期 目標
汚水処理	幹線管渠の 整備率			98.0%	100.0%	100.0%	汚水処理の普及の ため、幹線管渠の 整備を行う。	北中城幹線比屋根 中継ポンプ場圧送 管二条化工事	
耐水化	水害時に おける 機能確保率	処理場	揚水機能が 確保された 施設数(管理 棟、ポンプ 棟)：2	50% (1)	50% (1)	100% (2)	設備改築、耐震補 強に併せて耐水化 を図る。	－	
			沈殿機能が 確保された 水処理施設 数(水処理 棟)：10	90% (9)	90% (9)	100% (10)			
			汚泥処理機 能が確保さ れた施設数 (汚泥処理 棟)：16	63% (10)	63% (10)	100% (16)			
		ポンプ場 (汚水)	揚水機能が 確保された 施設数(管理 棟、ポンプ 棟)：5	60% (3)	60% (3)	100% (5)	BCPIによる対応を 行う。	－	
耐震化	災害時に おける 機能確保率	重要な幹線等		21%	24%	100%	改築更新に併せて 耐震化を図る。	北中城幹線改築工 事	
		下水処理場		46%	46%	100%	設備改築工事の実 施とともに耐震化 を図る。	－	
		ポンプ場(汚水)		34%	34%	100%	設備改築工事の実 施とともに耐震化 を図る。	－	
汚泥の 再生利用	燃料又は肥料として 有効利用された割合			100%	100%	100%	現状で発生汚泥の 全量を肥料化して いる。 今後も継続して、 発生汚泥の肥料化 を行う。	－	

(様式 2) 施設の機能の維持に関する方針

a) 主要な施設に係る主な措置

i) 劣化・損傷を把握するための点検・調査の計画

主要な施設	点検・調査の計画
管渠施設	【腐食環境下】 概ね 1 回/5 年の頻度で点検を実施。 点検で異状を確認した場合には、調査を実施。 【最重要管理施設(リスクランクⅠ・Ⅱの施設)】 概ね 1 回/8 年の頻度で点検を実施。 概ね 1 回/16 年の頻度で調査を実施。 【重要管理施設(リスクランクⅢ・Ⅳ・Ⅴの施設)】 概ね 1 回/20 年の頻度で点検を実施。 概ね 1 回/40 年の頻度で調査を実施。
汚水ポンプ施設 (ポンプ本体)	日常点検及び定期点検は随時実施。 概ね 1 回/5 年の頻度、または、点検の結果、異常の兆候がある場合は調査を実施。
水処理施設 (送風機本体)	日常点検及び定期点検は随時実施。 概ね 1 回/5 年の頻度、または、点検の結果、異常の兆候がある場合は調査を実施。
汚泥処理施設 (汚泥脱水機)	日常点検及び定期点検は随時実施。 概ね 1 回/5 年の頻度、または、点検の結果、異常の兆候がある場合は調査を実施。

ii) 診断結果を踏まえた修繕・改築の判断基準

主要な施設	修繕・改築の判断基準
管渠施設	緊急度Ⅰ又は緊急度Ⅱ
汚水ポンプ施設 (ポンプ本体)	健全度2以下のものを改築の検討対象とする。
水処理施設 (送風機本体)	健全度2以下のものを改築の検討対象とする。
汚泥処理施設 (汚泥脱水機)	健全度2以下のものを改築の検討対象とする。

iii) 改築事業の概要 (令和6年度～令和12年度)

主要な施設	改築事業の概要
管渠施設	管渠：309m マンホール：27箇所 マンホール蓋：251箇所
汚水ポンプ施設 (ポンプ本体)	該当なし。ただし、ストックマネジメント計画の変更がある場合はそれによる。
水処理施設 (送風機本体)	該当なし。ただし、ストックマネジメント計画の変更がある場合はそれによる。
汚泥処理施設 (汚泥脱水機)	該当なし。ただし、ストックマネジメント計画の変更がある場合はそれによる。

b) 施設の長期的な改築の需要見通し

改築の需要見通し (年当たりの概ねの 事業規模の試算)	試算の 対象期間	試算の前提条件
年当たり 概ね8.6億円	概ね100年後	■管渠施設 ◇緊急度Ⅰ・Ⅱの割合が沖縄県流域下水道4処理区で同じになるように改築 ■処理場施設・ポンプ場施設 ◇投資可能額の平準化及びリスク値を勘案して改築

(様式3) 毎会計年度の工事費の予定額及びその予定財源

(単位:千円)

年 度	イ 経費の部								
	建設改良費					起債元利 償還費	維持 管理費	その他	合計
	管渠	ポンプ場	処理場	計	うち用地費				
令和5年度迄	10,578,041	5,191,419	32,572,587	48,342,047	2,514,000	5,259,000	15,982,999	-	69,584,046
	10,775,479	5,091,726	29,867,991	45,735,196	2,514,000	5,458,864	14,366,485	-	65,560,545
令和6年度	200,000	-	270,000	470,000	-	166,191	1,068,483	-	1,704,674
	161,724	76,419	448,274	686,417	-	177,314	797,220	-	1,660,951
令和7年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	157,483	74,415	436,519	668,417	-	160,887	778,750	-	1,608,054
令和8年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	157,483	74,415	436,519	668,417	-	152,174	798,838	-	1,619,429
令和9年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	157,483	74,415	436,519	668,417	-	157,880	800,182	-	1,626,479
令和10年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	157,483	74,415	436,519	668,417	-	126,655	852,746	-	1,647,818
令和11年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	162,431	76,753	450,233	689,417	-	121,949	842,573	-	1,653,939
令和12年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	162,431	76,753	450,233	689,417	-	108,591	851,644	-	1,649,652
令和6年度～ 令和12年度	200,000	-	270,000	470,000	-	166,191	1,068,483	-	1,704,674
	1,116,518	527,585	3,094,816	4,738,919	-	1,005,450	5,721,953	-	11,466,322
～令和12年度 合計	10,778,041	5,191,419	32,842,587	48,812,047	2,514,000	5,425,191	17,051,482	-	71,288,720
	11,891,997	5,619,311	32,962,807	50,474,115	2,514,000	6,464,314	20,088,438	-	77,026,867

(単位:千円)

年 度	□ 財源の部										
	建設改良費						維持管理費及び起債元利償還費				合計
	国費	起債	他会計 繰入金	受益者 負担金	その他	計	下水道 使用料	他会計 繰入金	その他	計	
令和5年度迄	33,691,826	5,296,461	2,039,540	-	7,314,220	48,342,047	-	9,420,967	11,821,032	21,241,999	69,584,046
	31,578,601	5,047,439	2,039,540	-	7,069,616	45,735,196	-	8,447,046	11,378,303	19,825,349	65,560,545
令和6年度	335,833	67,083	-	-	67,084	470,000	-	517,264	717,410	1,234,674	1,704,674
	480,000	100,009	3,200	-	103,208	686,417	-	433,942	540,592	974,534	1,660,951
令和7年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	468,000	100,009	200	-	100,208	668,417	-	389,859	549,778	939,637	1,608,054
令和8年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	468,000	100,009	200	-	100,208	668,417	-	391,977	559,035	951,012	1,619,429
令和9年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	468,000	100,009	200	-	100,208	668,417	-	390,472	567,590	958,062	1,626,479
令和10年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	468,000	100,009	200	-	100,208	668,417	-	402,460	576,941	979,401	1,647,818
令和11年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	482,000	100,009	3,700	-	103,708	689,417	-	378,125	586,397	964,522	1,653,939
令和12年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	482,000	100,009	3,699	-	103,709	689,417	-	364,677	595,558	960,235	1,649,652
令和6年度～ 令和12年度	335,833	67,083	-	-	67,084	470,000	-	517,264	717,410	1,234,674	1,704,674
	3,316,000	700,063	11,399	-	711,457	4,738,919	-	2,751,512	3,975,891	6,727,403	11,466,322
～令和12年度 合計	34,027,659	5,363,544	2,039,540	-	7,381,304	48,812,047	-	9,938,231	12,538,442	22,476,673	71,288,720
	34,894,601	5,747,502	2,050,939	-	7,781,073	50,474,115	-	11,198,558	15,354,194	26,552,752	77,026,867
下水道使用料※ 関連事項	接続率： 講じる対策： 関連市町村の対策に準じる。										
	有収率： 講じる対策： 関連市町村の対策に準じる。										
	その他の講じる対策										